

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

No. 608

みやまこども園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 指導計画に基づき、子どもが主体的に活動するための環境を構成し、学びをみとる力を高める。	(1) ◎	子どもの姿から、定期的に遊びの環境を見直したり、子どもの学びを終礼で語りあったりした。
		(2) 保育教諭の自己評価と保護者アンケートを実施し、教育・保育の見直しを行い、質の向上を図る。	(2) ◎	行っていることが保護者には伝わりにくいと感じた。保護者への発信の仕方を考えていきたい。
		(3) 保育カウンセラーと連携し、一人一人に合わせた支援の在り方を検討し実践する。	(3) ◎	保育カウンセラーからのアドバイスを実践し、園児が落ち着いてきている。
		(4) ヒヤリハットや事故報告などから対応や事故防止策を検討し、安全について共有し、環境を整えていく。	(4) ◎	園内でヒヤリハットの共有を行い、環境を整えた。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) みあいっこ研修や園内研修を計画・実施し、教育・保育の質の向上を図る。	(5) ◎	みあいっこ研修は年に2回、また、終礼を利用して定期的に園内研修を行い、質の向上を図った。
		(6) 教育・保育に関わる法律や要領を理解するとともに、国及び県や市の動向の情報収集を行う。	(6) ◎	全保教ニュースを職員で回覧したり、子育てに関する施策の情報収集を行ったりした。
		(7) 職員一人一人が職種や経験年数に応じた研修に積極的に参加し、学んだことを園内で共有する。	(7) ◎	正規職員だけでなく、会計年度職員も、様々なオンライン研修を受講し、保育に活かしている。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時、連絡帳などで、情報交換、育児相談の充実を図ったり、情報を提供したりする。	(8) ◎	送迎時の伝達や連絡帳記載に加え、キッズビューの活動記録の中で、遊びだけでなく生活面の情報提供を行った。
		(9) 玄関掲示や、キッズビューでほっとつうしん(クラス便り)などを配信し、園の教育・保育の内容の情報提供をする。	(9) ◎	誕生会は玄関掲示、活動記録は月に4回キッズビューで配信している。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) ぴよんぴよんルームと連携して行う行事を取り入れたり、園開放日等の情報提供をしたりする。	(10) ○	夏祭りは連携して行うことができた。次年度は更に増やしていけると良い。
		(11) 併設する子育て支援センターの情報提供と、連携事業の開催及び交流を行う。	(11) ○	ぴよんぴよん便りで情報提供を行ったり、地域の親子との交流をもったりすることができた。
		(12) 育児相談や支援についての知識を身につけ、育児相談を積極的に行う。	(12) ○	相談は随時行っていた。育児支援の研修があれば受講するようしていきたい。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健康管理センターや支援事業関係センター等への情報提供を行い、連携した支援を行う。	(13) ◎	情報連携用紙を使用し、1歳半検診、3歳児健診等で情報提供や連携を行った。
		(14) 地区の子育て支援に関する協議会等に参加し、情報を共有する。	(14) ◎	園長が美山公民館運営審議会委員に委嘱されており、定期的に情報を共有している。
		(15) 園小連携会議を開催し、接続カリキュラムを作成する。美山3地区の小学校との連携・交流を行う。	(15) ◎	接続カリキュラムを作成し、それに基づき、各小学校との連携や交流を積極的に行った。
		(16) 美山中、美山分署、美山駐在所、公民館との災害時・緊急時のネットワークを強化する。	(16) ◎	水害を想定した避難訓練を行った。また、実際に川が氾濫したり、近隣で火災が発生したりした時は、地域各所と情報共有し、連携できた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 公民館(地域子育て支援事業等)で開催する行事の情報提供を行ったり、行事へ参加したりする。	(17) ◎	公民館で開催する子育て講座の情報提供を行ったり、文化祭で園児の作品を展示したりした。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育体験や実習生を受け入れ、子育てへの関心を高め、社会全体で育てていく子育て文化を発信したりする。	(18) ◎	美山中学校の生徒や仁愛大学、仁愛女子短期大学等の実習生を受け入れ、幼児への関心を深めてもらうことができた。
		(19) 人形劇やクリスマス会等の開催をポスターやチラシなどで地域の保護者に知らせ、参加を呼びかける。	(19) ○	人形劇は地域の親子に参加してもらうことができた。次年度はクリスマス会への参加も呼びかけていきたい。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 子育てに関する研修や集いなどの情報を提供し、保護者に参加してもらうよう呼びかける。	(20) ○	市内で開催される子育てに関する集いのチラシを配布したり、掲示したりした。
		(21) 美山地区の敬老会や文化祭等に参加し、発表や交流、作品出店などを行う。	(21) ◎	地区敬老会で発表を行ったり、文化祭では3・4・5歳児の作品を展示したりした。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 公立認定こども園の連絡会に参加し、こども園に関する県や市からの情報を得て、伝達・周知する。	(22) ◎	園長が公立認定こども園の連絡会に参加し、情報共有を行った。
		(23) 園小接続講座などの研修に参加し、こども園の取り組みを発信したり情報交換をしたりする。	(23) ◎	学校との連携では、園で作成したドキュメンテーションを見せながら取り組みを発信している。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画を、園の指導計画に位置付け、実施する。	(24) ◎	アクションプログラムに基づいた活動計画を実施できた。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎:当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○:計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △:不足する部分や問題があった。 ×:目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。